

みなさんの **こうなればいいのに** が



新しいルール 標準化 を作ります!

みなさんの声**が標準化としてカタチ**になった例

シャンプーボトル



「シャンプーとリンスの容器が似ていて紛らわしい」「目をつぶっても区別できるとよい」といった消費者の声がきっかけで、「きざみ」をつけたシャンプーボトルが1991年に発売されました。その後、日本産業規格(JIS)となり、今ではほとんどのシャンプーに「きざみ」がついています。

牛乳パック



「飲料の紙パックはどれも同じ形なので不便を感じている」「牛乳と他の飲料を区別できるようにしてほしい」といった目の不自由な方などの声を踏まえて、政府、業界団体、消費者が協力して対応策を検討。さわっただけでわかるように「切欠き」付きの牛乳パックが販売されるようになりました。

容器のフタ



加齢などで身体能力が低下した方などがボトルなどの容器を扱いやすくするための日本産業規格(JIS)が定められています。容器に取っ手をつける、キャップを持ちやすく滑りにくく加工する、といった基準をつくったことで、高齢者や障害者を含む多くの消費者の方々にとって使いやすい包装の製品が広がっています。

世の中をもっと便利で、過ごしやすいするための
みなさんのお声をお聞かせください!



※標準化で定めたルールは任意のものであり、メーカーへの強制力はありません。

さあ、あなたも、
ルールテイカーから
ルールメイカーへ!

10月は産業標準化推進月間です



詳しくは 標準化・認証

検索

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/index.html>



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。